



一本道

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

西小学校通信 No.24

令和6年11月26日

校長 吉田憲一

1 晴天の持久走大会、がんばる姿はカッコいい！

11月20日、晴天の中、持久走大会を行いました。参加できた子供は、全員が完走できました。私は、ゴールのところで、「がんばったね。」と全員を迎えました。「がんばらなければならないときに、がんばる姿」って、カッコいいですよ。1位の子供も、最後にゴールした子供も、全員がカッコよかったです。毎日の授業でも子供たちは成長していますが、今日のような行事で、子供たちは大きく成長します。



2 日本を代表する放送作家、内村宏幸氏 来校、演題「ひねり出す力」

11月22日、熊本県学校図書館研究大会が、西小学校で行われました。県下各地から121名が来校され、記念講演や実践発表で、図書館教育について学びを深めました。記念講演では、日本を代表する放送作家の内村宏幸氏に、「ひねり出す力」という演題で講演をしていただきました。体育館に、本校職員約20名と5・6年児童約100人も加わり、合計約240名が参加しての90分間の講演でした。画像、映像、巧みな話で、「アイデアは、決して降りてきたりはしません。ひねり出すものです。」を実感しました。

また、最後には、内村宏幸氏がひねり出された新しい台本『ランドセルのゆくえ』を、職員3名＋児童3名で、見事に演じました。笑いと拍手が体育館に響きました。



3 全校児童に講演会、「ネット依存・ゲーム依存」の入り口に！

11月25日、1～3年生と4～6年生に分けて、体育館にて、演題「ゲーム・動画について、みんなで考えよう」という講演会を行いました。講師は、西小学校に週1回来校されているSSW（スクールソーシャルワーカー）の澤井様をお願いしました。不登校の要因は人により様々ですが、私は、全国的に不登校が増え続けている一番の原因は、この「ネット依存・ゲーム依存」だと考えています。講演の中で印象的だった言葉を3つ紹介します。

(1) ゲーム依存・ネット依存になると、脳の働きが壊れる。特に「理性」をつかさどる前頭葉が壊れる。

(2) ゲーム依存・ネット依存は、病気である。「体や心の乱れ」と「生活の乱れ」が表れ、治療しないと治らない。

(3) 脳が壊れないためには、次の4つを守るしかない。①2時間以内 ②ルールは自分と親と一緒に決める ③1週間の中でしない1日を決める ④する場所を決める（寝室は×）

事前に全校児童にアンケートをとられて、その数値を見せながらの講演でした。



体育館から出てくる子供たちが担任の先生に「本当にやばいと思いました。」と話していました。本当にやばいのです。「ゲーム依存・ネット依存」の入り口近くまで来ている子供、すでに入っている子供が確実にいます。この講演をきっかけに、ゲームやネットとの付き合い方を見直してほしいです。自分の人生を変えることができるのは、本人と保護者の皆様だけなのです。